

もう一歩、自然に近づいてみませんか

その1 ベランダビオトープ

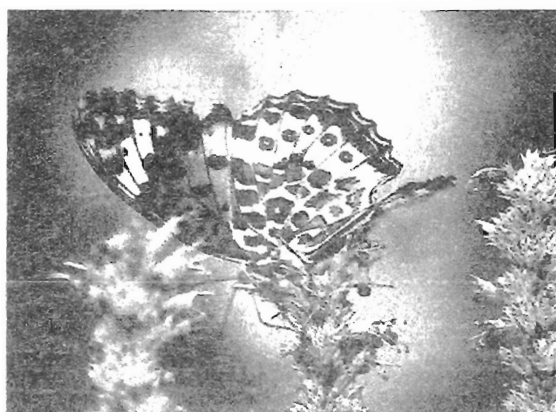
夏みかんやグレープフルーツ等を食べると、種がたくさん出てきます。その種を植木鉢等に埋めておくと、2ヶ月ぐらいたって忘れかけた頃芽が出てきます。みずみずしくやわらかい二つの葉が、それはそれはかわいらしく美しいです。観葉植物として楽しむのもいいのですが、2~3本を大き目の植木鉢に植え替えると、結構大きくなります。

その葉に、小鳥のフンのようなアゲハチョウの幼虫が見つかることがあります。幼虫が育つのは楽しみですが、葉を食べられるのは悲しいし...少し複雑です。

木が大きくなればもう大丈夫です。たくさんのアゲハチョウが育ちます。そして、ベランダの花の蜜をすったり、また卵を産みに来たりします。

ベランダで育てたハーブの花に、アゲハチョウのほかに、アオスジアゲハなどめずらしいチョウも来て、楽しませてくれます。

教室の窓辺で、給食のくだもの種から、植物を育ててみるのもいいですね。



ベランダにやってきた蝶。アカタテハの仲間ようだ。

その2 はなみずきとウドンコ病

桜の花が散り葉桜に変わる頃、薄紅色の花をつけるはなみずきの街路樹を、よく見かけます。秋にはほかの木より早く紅葉し、赤い葉と赤い実が目を楽しませてくれます。

しかし、この木は外来種で、乾燥した気候に合う植物なのです。湿度の高い日本では、葉にカビのようなものがはえてしまうのです。ウドンコ病です。はなみずきに限らず、ウドンコ病にかかる植物は多いですね。花屋さんや並んでいるきれいな花にも、野菜や果物にも外来種がたくさんありますね。

その3 やまももと温暖化

やまももの実を食べたことがありますか？実は食べたことないけど、ジャムならあるよ、という人もいるかもしれません。やまももは暖かい地方で大きな木になり、赤い実がなります。甘酸っぱくておいしい実です。

ところが、この頃東京などでも実をつけるようになりました。とてもうれしいことのようにですが、喜んでばかりはいられません。というのは、それだけ温暖化が進んでいるからなのです。

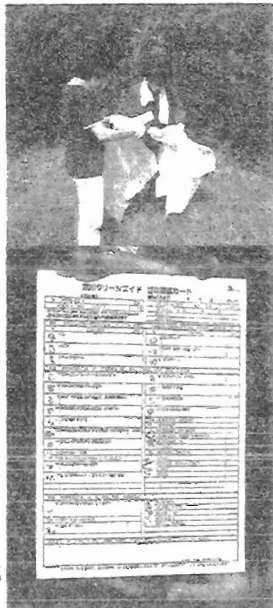
板橋区の出した資料によると、100年間に東京都ではなんと6度C平均気温が上がっているのです。そういえば、亜熱帯地方の植物がベランダで冬越ししたり、飼っていたインコなどが逃げ出して、外で冬越しが出来るなどという話も聞いたことがあります。

滅多に出会わない鳥であるが、まるで「ワタンを見て！」と言わんばかりに、葦の枯れ枝にしばらくとまってくれている。
視覚、味覚を十分に満足させてくれた秋の一日だった。



水質検査もクリーンエイドの重要な仕事。栗林さんのわかりやすく楽しい解説で、参加した子ども達が、COD、pHなど5項目のパックテストを行った。

ゴミは、可燃、不燃、資源と分けて回収し、さらに細分化した分類で記録されていく。



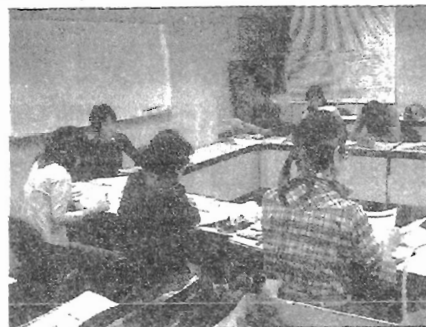
<荒川クリーンエイドー口メモ>

年2回(春と秋)荒川流域の50数箇所を会場として、ごみ拾いと水質検査、自然観察などを実施するイベント。昨年は延べ9,000人を超すボランティアが集まり、資源ごみ507袋、不燃ごみ1,612袋の回収実績を上げている。主催：NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム(<http://www.cleanaid.jp/>)

【SOEの新プロジェクトが始まりました】

SOEと環境活動に熱心な大学生とのコラボレーション

多くの大学に環境活動を続けているグループがあることはおぼろげに知っていたが、活動する学生の意識については皆目わからなかった。今回あるきっかけで知り合った学生達に触れて驚いたのは、その意識の高さである。学生達の出身校をみると、早稲田、学芸大学、法政、日本女子大、麻布、とJCCCA(全国地球温暖化防止活動推進センター)管轄「ストップおんだん館」のスタッフ1名。彼らの凄いところは、机上の知識だけではなく、実践活動をとまなう活動を展開し続けているということだ。



エコポリスセンターを会場に、熱いミーティングは8時間におよんだ。

このメンバーとSOEとがコラボで一つのプロジェクトを立ち上げるべく、先日そのキックオフミーティングを開催した。

活動目標の大きな柱は小・中学校を対象とした「環境教育プログラム」を創作し、それを学校の現場で実践すること。現在板橋区が改定を進めている「環境教育基本計画」の内容を基準に、実現可能な内容を詰めていきたいと考えている。

SOEの活動としては今までに無い道筋が、新たに加わることになるが、今後この紙面にて活動の動きを追っていきたい。

学生との出会いのきっかけは、地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)で行われた『学校ほどゆかいなところはない』の上映会でした。センスオブアースのホームページでは、この『学校ほどゆかいなところはない』のDVDや、また、書籍の頒布のお知らせをはじめ、SOEの活動が紹介されています。ぜひ、ご覧ください。

www.npo-soe.jp または npo-soe.jp へアクセスしてください。

センスオブアース 12月～'07.1月のイベント

NHK生活ほっと

夏休みラジオ子ども質問番組でおなじみの **藤本和典さんと歩く《要・申し込み》**

●高島平緑地帯～赤塚公園内自然観察と赤塚森林浴バーベキュー●

12月16日(土) 10時～14時ごろ 参加費:ひとり400円(保険・バーベキュー代含む)

集合場所:高島平図書館前の芝生広場(雨天中止)

持ち物:筆記用具、双眼鏡、飲み物(水筒など)、タオル、レジャーシート、自分用のお椀とはし

夏の自然観察に引き続き、ふたたび、藤本和典さんといっしょに冬の板橋区の自然観察です。何気ない街の風景から、樹木、鳥、虫など、いきものたちの不思議な楽しいお話を聞きながら過ごすホットな一日です。昼食は高島平緑地でバーベキューを楽しみます。親子、友人同士でどうぞご参加ください。(参加費は、大人子ども共に400円です。当日集めます。)

今年の6月17日に行われた
藤本和典さんの自然観察会



駐車場の雑草で不思議で楽しい自然観察



団地の公園の樹木で自然観察

川越市今福の雑木林で自然の大切さ、すばらしさを感じてください

雑木林を生き返らせ、焼き芋、豚汁、餅焼きも楽しむ会《要・申し込み》

'07年1月13日(土) 現地9時集合 参加費:ひとり400円(保険・食事代含む)

集合場所:川越駅(詳細は次号で)

持ち物:よごれてもいい服と軍手、防寒着、飲み物(水筒など)、タオル、自分用のお椀とはし

川越市今福の雑木林で落ち葉はき、カブトムシの幼虫探し、たき火で焼き芋、豚汁づくりなど農業体験もしながら雑木林が人や自然の共生生活にどんなに役立っているかを知ることができます。野菜のおみやげもあります。(住所-川越市今福708周辺の雑木林。川越駅よりバス15分)

《学生、市民、教師の協働でおこなう》

第二回環境教育プログラム作成ワークショップ-学校に提案する教材とプログラム作り

12月3日(日) 13時～17時 場所:板橋区エコポリスセンター2階 環境学習室

大学生が中心となって、より具体的な授業用プログラム作成が始まりました。参観ご希望の方は下記申し込み先までお知らせください。

《要・申し込み》のイベントは事前のお申し込みが必要です。

下記メールまたは、FAXにて【お名前・電話番号・参加者数を明記のうえ】お申し込みください。

メール: info@npo-soe.jp FAX: 03-3960-6053

発行 特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp